

2018 年度後期 授業改善アンケート集計結果に対する意見
—「大学院全体」—

法学研究科長 川 淳一

全体的には比較的よいスコアがでていて好ましい傾向であると思料するが、依然としてスコアから読み取るかぎり欠席回数が若干多いようにも思われる。もともと、大学院の場合には学部の講義とは異なる事情もあり一概に問題とまではいえないように思われる。とりあえずは、年度が変わってどうなるかを見ていくべきであろうと思料する。

以上